

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		江良地区湧水公園崖地整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	企画財政課	担当者名	岩田 建一
	基本事業	1	災害の未然防止対策			所属班	政策企画班	(内線)	1244
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	6
		1	2	1	11	-		コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H20 ~ H21 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市有地である江良地区の湧水公園(都市公園ではない。)について、隣接する国有地及び西側民地が崖地となっており、崩落の危険性があつた。平成20年2月、地元区から崖地の補強について改善要望が出されたことを受け、災害の未然防止のため、H20年度中に設計、H21年度に補強工事を実施する内容で事前評価会議の採択を受けた。H20年度国の経済対策補正の対象となり、H21年度への繰越事業として実施することとなった。 過去(H18)、長雨による崖地の崩壊により、市有地と隣接民地の土砂が市道反対側民地へ流出し、同宅の納屋を損壊したため、崩壊した市有崖地に隣接民地を必要面積を買収し、市道災害復旧事業として復旧したが、納屋の損壊に対しては、自然災害のため公費での修復ができず、このことにより、地元区の防災に対する意識が高まり、事業要望に至っている。事業完了後は、通常の管理を地元江良区で行なう「井戸湧水復活再生公園管理事業」として取り組む。
【業務の流れ】	実施設計業務委託、地元(区長、地権者等)協議、工事発注、着手、施工及び施工管理、完了検査
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	・H20.5.19に、地元関係者協議(区長、隣接地権者、建設課職員、企画財政課職員)を行ったが、地元区からは一刻も早く老朽化した竹垣を改善し、土留めを行なって欲しいとの声があつた。また、建設課からは、対象地が施工困難な場所であり、補強策の方法検討、施工上の課題を克服するため、専門的な実施設計を行う必要があるという意見があつた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
契約(H21.3.30)した工事の施工、監理、検査(H21.7.7)、工事請負代金支払 (4~6月施工、7月完了検査)	事業完了に伴い、井戸湧水復活再生公園管理事業として取り組む。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
→ア:工事実施に至る協議及び設計に要した時間 時間	→イ:工事施工期間 日
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	→ア:関係市有地面積 m <sup>2</sup>
市有地(観音の泉水公園)	→イ: m <sup>2</sup>
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
災害時、民地や隣接地に被害を与えない施設になる	→ア:補強ができた施設の高さ m
	→イ:補強ができた施設の延長 m
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
・災害時、民地や隣接地に被害を与えない施設になるための成果を測る指標として、それまで何もなかった崖地に補強のための構造物(コンクリート)を設置することで効果を生み出すと考え、構造物そのものの補強ができた施設の高さ及び延長を成果指標とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	時間		32	0	0			
	イ	日			86	86			
⑤ 対象指標	ア	m <sup>2</sup>			132	132			
	イ								
⑥ 成果指標	ア	m			4	4			
	イ	m			47.3	47.3			
事業費	国庫支出金	千円			2,000	2,000			
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円		284	1,000	940			
	(A) 事業費計	千円		0	284	3,000	2,940	0	0
入量	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人		4	4	4			
人件費	延べ業務時間	時間		32	56	56			
	(B)人件費計	千円		0	128	223	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	412	3,223	3,163	0	0

総トータルコスト	
全体計画	
H20 ~ H21 年度	2,000
(期間限定複数年度のみ記載)	
	1,284
	3,284
	8
	88
	350
	3,634

谷志市

事務事業名	江良地区湧水公園崖地整備事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・国の経済対策補正予算の対象となったことで、市一般財源の持ち出しを軽減することができ、事業進捗については、隣接する西側民地の住民や竹林所有者の協力もあり、スムーズに整備を進めることができ、施工困難な狭小な場所にもかかわらず、請負者の努力で順調に事業を完了することができ、災害の未然防止につなげることができた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <b>H21年度事業完了のため廃止</b>	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 本事業の完了に伴い、今後は、通常の管理を地元区で行なう「井戸湧水復活再生公園管理事業」として取り組む。  
 なお、広く市民のために活用される公園的な施設として、このような形状の市有地を市が保有し、財産管理を行っていく必要があるのかについてはさらに検討の余地がある。